SH-07F パソコン接続マニュアル

●データ通信	1
●ご使用になる前に	2
● データ転送(OBEX™通信)の準備の流れ	3
● データ通信の準備の流れ	3
● パソコンとFOMA端末を接続する	4
● FOMA通信設定ファイルをインストールする	5
●通信の設定	8
●データの送受信(OBEX™通信)について	. 14
● ATコマンド一覧	. 16

パソコン接続マニュアルについて 本マニュアルでは、SH-07Fでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、 「FOMA通信設定ファイル」のインストール方法などを説明しています。 お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- 海外では、パソコンなどと接続しての64Kデータ通信は利用できません。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください(PPP接続ではパケット通信できません)。

■ データ転送(OBEX[™]通信)

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、FOMA端末と他のFOMA端末やパソコンなどの間で送受信します。

● 送受信できるデータは転送方法によって異なります。転送方法ごとの送受信可能なデータについては、「取扱説明書(詳細版)」(PDFファイル)をご覧ください。





FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売) microSDカード

■パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは 通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたが できます。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを 利用して、下り最大7.2Mbps、上り最大5.7Mbpsの高速通信を行うことができます(通信環境や、電波などが混み 合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です)。

- 最大7.2Mbps、最大5.7Mbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。
- FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、または HIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、通信速度が遅くなる場合があります。

パケット通信はFOMA端末とパソコンなどをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。

データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。 FOMA端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます。

■ 64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同 期64Kアクセスポイントを利用します。

64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンなどをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続して、各種設定を 行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適 しています。

長時間通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

ご利用にあたっての留意点

■ インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイタに対する利用料が必要にな ります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにあ支払いいただ きます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。

■ 接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

■パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でデータ通信(パケット通信/64Kデータ通信)を行うには、次の条件が必要になります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること

● 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE(財団法人電気通信端末機器審査協会)の認定品である必要があります。

ご使用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
	FOMA 充電機能付USB接続ケーフル 02(別売)を使用する場合:USBボート (Universal Serial
	Bus Specification Rev1.1/2.0準拠)
	ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨
OS	Windows Vista SP2、Windows 7 SP1、Windows 8、Windows 8.1(各日本語版)
必要メモリ	Windows Vista:512MB以上、Windows 7(32ビット版):1 GB以上、Windows 7(64ビット版):
	2 GB以上、Windows 8(32ビット版):1 GB以上、Windows 8(64ビット版):2 GB以上、Windows
	8.1(32ビット版):1 GB以上、Windows 8.1(64ビット版):2 GB以上
ハードディスク容量	5MB以上の空き容量

動作環境の最新情報については、ドコモのホームページをご確認ください。

- 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。
- OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- ●動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、前記の動作環境以外でのご使用による問い合わせあよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に次のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02、またはFOMA USB接続ケーブル(別売)
- FOMA通信設定ファイル(ドライバ)※
- ※ドコモのホームページからダウンロードしてください。
- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02」、または「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送(OBEX[™]通信)の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)をご利用になる場合は、FOMA通信設定ファイルをイン ストールしてください。



● FOMA端末でインターネットをするには、プロードバンド接続などに対応した「mopera UJ(お申し込み必要) が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。

● USB接続でデータ通信を行うにはFOMA端末のUSBモードを[通信モード]に設定してください。

FOMA通信設定ファイルについて

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続してデータ通信を行うには、ドコ モのホームページからFOMA通信設定ファイルをダウンロードしてインストールする必要があります (1979-15~P.7)。

- インストールに失敗してP.6「インストールしたFOMA通信設定ファイル(ドライバ)を確認する」の操作3の各画面で[FOMA SH07F]のデバイス名が表示されていない場合は、FOMA通信設定ファイルをアンインストールし(2017 P.7)、もう一度インストールしてください。
- ●何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、FOMA通信設定ファイルをアンインストールし(1分P.7)、もう一度インストールしてください。

パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。パソコンとFOMA端末を接続すると、FOMA端末の画面に[1]が表示されます。FOMA通信設定ファイルガインストールされていない場合、使用するパソコンにFOMA端末を接続する前に、FOMA通信設定ファイルをインストールしておきます(127P.5)。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続する

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)のFOMA端末側コネクタを FOMA端末の外部接続端子に水平に差 し込む(**11**)。

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のパソコン側コネクタをパソコンの USBコネクタに差し込む(**2**)。

取り外しかた

- 1 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のFOMA端末側のリ リースボタンを押した状態(■)で、FOMA端末からコネクタ を水平に引き抜く(2)。
 - 無理に引っ張ると故障の原因となります。
- **2**バソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のコネ クタを抜く。
- FOMA端末のUSBモード設定を[通信モード]にして接続してください。
 - ・通信モードにする:FOMA端末のノーマルメニューで[本体設定] ▶ [外部接続] ▶ [USBモード] ▶ [通信モード]の 順に選ぶ。
- データ通信中にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を外さないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。





FOMA通信設定ファイルをインストールする

FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)でパソコンに接続してデータ通信を行うには、FOMA通信設定ファイルが必要です。

● FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする前に、パソコンに常駐しているソフトはすべて終了してください。

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

- パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。
- ・ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[はい]または[許可]、[続行]をクリックしてください。
- FOMA端末は操作1~6を行ったあとにパソコンに接続してください。

ドコモのホームページでFOMA通信設定ファイル(ドライバ)のページへアクセス する。

 下記サイトにアクセスしてください。 https://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/foma/com_set/driver/index.html



使用許諾契約書を確認し、同意する場合は[同意する]をクリックする。

- 次のような警告画面が表示される場合があります。
 この警告はInternet Explorerのセキュリティの設定
 によって表示されますが、使用には問題ありません。
 - 警告画面が表示された場合 [実行]をクリックしてください。

nttdocomo.co.jp から SH-07F_driver.exe (XX.XMB) を実行または保存しますか?					¢
	実行(<u>R</u>)	保存(S)	-	キャンセル(<u>C</u>)	

👖 ダウンロードしたドライバ[SH07Fs.exe]をダブルクリックする。

┗┓ [インストール開始]をクリックする。

Windows Vistaの場合

• [インストール開始]をクリックし、操作8へ進む。

- [セットアップ開始]をクリックする。
- [デバイスメタデータをコピーしました]が表示されたら[OK]をクリックする。
- FOMA SH07FとPCをFOMA USB接続ケーブルにて接続してください。]が表示されたら、FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02でパソコンに接続する。
 - インストール中の画面が表示され、インストールが自動的に開始します。
 - FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。

GENTER SH07Fドライバのインストールが完了しました。」が表示されたら[OK]を クリックする。

- FOMA通信設定ファイルのインストールが終了します。
- インストールには数分かかる場合があります。
- [プログラム互換性アシスタント]が表示された場合は[このプログラムは正しくインストールされました]をクリックしてください。
- パソコンを再起動する旨の画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。
- [他のデバイスドライバのインストールが終了後に再度インストーラを実行してください。]と表示された場合は、自動的にインストールされた別のドライバをアンインストールしてから、インストールしてください。アンインストールの操作については「FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をアンインストールする」を参照してください。

インストールしたFOMA通信設定ファイル(ドライバ)を確認する

FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

<例>Windows 8.1で確認するとき

● Windows 8、Windows 7、Windows Vistaをご使用のときは、画面の表示が異なる場合があります。

【スタート画面 ▶ [デスクトップ]をクリックし、画面右上にカーソルを合わせ、[設定] ▶ [コントロールパネル] ▶ [システムとセキュリティ] ▶ [システム]を順にクリックする。

システムのプロパティ画面が表示されます。
 Windows 7の場合
 【スタート]メニュー▶ [コントロールパネル]をクリックする。
 2 [システムとセキュリティ]をクリックする。
 Windows Vistaの場合
 1 [スタート]メニュー▶ [コントロールパネル]をクリックする。
 2 [システムとメンテナンス] ▶ [システム]アイコンを順にクリックする。

🤈 [デバイスマネージャー]をクリックする。

デバイスマネージャー画面が表示されます。
 Windows Vistaの場合
 1 「タスク〕の「デバイスマネージャ〕をクリックする。

3 各デバイスをクリックしてインストールされ たデバイス名を確認する。

[ユニバーサル シリアル バス コントローラー]、[ポート (COMとLPT)]、[モデム]の箇所に、インストールしたデバイ ス名がすべて表示されていることを確認します。

 FOMA通信設定ファイルをインストールすると、次のドラ イバガインストールされます。

デバイスの種類	デバイス名
ユニバーサル シリアル バス コントローラー Windows Vistaの場合 ユニバーサル シリアル バス コントローラ	• FOMA SH07F
ポート (COMとLPT)	 FOMA SH07F Command Port(COMx)^{**} FOMA SH07F OBEX Port (COMx)^{**}
モデム	 FOMA SH07F

※「COM×」の「×」は数値です。お使いのパソコンによって異なります。



認識されるとこのように表示されます。

● インストールに失敗したとき、または操作3の画面に[FOMA SH07F] が表示されていないときは、アンインストール してから再度インストールしてください。アンインストールの操作については「FOMA通信設定ファイル(ドライバ) をアンインストールする」を参照してください。

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をアンインストールする

FOMA通信設定ファイルのアンインストール手順を説明します。

- FOMA通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。 パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
 - ・ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[はい]または[許可]、[続行]をクリックしてください。

■ コントロールパネルからアンインストールする

<例>Windows 8.1でアンインストールするとき

● Windows 8、Windows 7、Windows Vistaをご使用のときは、画面の表示が異なる場合があります。

【スタート画面 ▶ [デスクトップ]をクリックし、画面右上にカーソルを合わせ、[設定] ▶ [コントロールパネル] ▶ [プログラムのアンインストール]を順にクリックする。

「プログラムのアンインストールまたは変更]画面が表示されます。
 Windows 7の場合
 1 [スタート]メニュー▶ [コントロールパネル]をクリックする。
 2 [プログラムのアンインストール]をクリックする。
 Windows Vistaの場合

1 [スタート] メニュー ▶ [コントロールパネル]をクリックする。
 2 [プログラム] ▶ [プログラムと機能] アイコンを順にクリックする。

🖉 [FOMA SH07F USB Driver]をダブルクリックする。

3 [FOMA SH07F ドライバーのアンインストールを行います。]が表示されたら、[はい]をクリックする。

• FOMA通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

Windows Vistaの場合

- [はい]をクリックし、操作6へ進む。
- [SH07Fのデバイス メタデータをWindowsから削除します。]が表示されたら[削除 開始]をクリックする。
- 🖣 [デバイスメタデータを削除しました]が表示されたら[OK]をクリックする。
- **6** [アンインストールは完了しました。PCを再起動してください。]が表示されたら、 [OK]をクリックし、パソコンを再起動する。
 - FOMA通信設定ファイルのアンインストールが終了します。

 [プログラムのアンインストールまたは変更]画面に[FOMA SH07F USB Driver]が表示されていない場合は、ダウン ロードしたドライバ[sh-07f_driver]内の¥SH07F_Win8_32フォルダ内[SH07Fc.exe]をダブルクリックしてアンイ ンストールを行ってください。
 ※ Windows 8(32ビット版)の場合:¥SH07F Win8_32フォルダ内

- Windows 8.1/Windows 8(64ビット版)の場合:+SH07F_Win8_64フォルダ内 Windows 7(32ビット版)の場合:+SH07F_Win7_32フォルダ内 Windows 7(64ビット版)の場合:+SH07F_Win7_64フォルダ内 Windows Vista (32ビット版)の場合:+SH07F_WinVista32フォルダ内 Windows Vista (64ビット版)の場合:+SH07F_WinVista64フォルダ内
- [プログラム互換性アシスタント]が表示された場合は[このプログラムは正しくインストールされました]をクリックしてください。

通信の設定

パケット通信と64Kデータ通信の設定手順

パケット通信/64Kデータ通信を設定する方法について説明します。

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。各OSに対応したソフトを 使って設定してください(ご使用になるソフトの使用方法に従ってください)。

- ATコマンドで設定する操作は、次のような流れになります。
- 64Kデータ通信の場合、接続先(APN)の設定はありません。



- パケット通信/64Kデータ通信の設定をする前にFOMA通信設定ファイルをインストールしてください(☎P.5)。
- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独 自のATコマンドをサポートしています。
- ▶「コモのインターネット接続サービスmopera Uをご利用になる場合、お買い上げ時に設定されているため、接続先 (APN)の設定は不要です。
- 発信者番号通知の設定は必要に応じて設定してください(mopera Uをご利用の場合、[通知]に設定する必要があります)。お買い上げ時は、[設定なし]に設定されています。
- その他の設定は必要に応じて設定してください。お買い上げ時のままでも利用できます。

接続先(APN)の設定

パケット通信を行う場合の接続先(APN)を設定します。最大10件まで登録できます。接続先は1~10の cid(GPP.9)という番号で管理されます。お買い上げ時、cid1にはmopera Uに接続するためのAPN 「mopera.net」、<PDP_type>は「PP」が、cid3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」、</PDP_type>は「IP」が、cid4にはmopera Uに接続するためのAPN「mpr.ex-pkt.net」、</PDP_type>は「PP」が 登録されていますので、cid2、5~10に接続先(APN)を登録してください。

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
- mopera U以外の接続先(APN) については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に お問い合わせください。

FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)でパソコンに接続する。

႗ 通信ソフトを起動する。

通信ソフトの接続先COMポートには、モデムのCOMポート番号を指定してください。
 モデムのCOMポート番号を確認する:デバイスマネージャー画面で[モデム]の[FOMA SH07F]
 (57P.6)を右クリックし、[プロパティ] ▶ [モデム]タブをクリックし、ポートの番号を確認する。

【 接続先(APN)を入力して-----を押す。

- 「AT+CGDCONT=<cid>、"<PDP_type>","APN"」の形式で入力します(留P.19)。
 <cid>:2,5~10までのうち任意の番号を入力します。
 "<PDP_type>":"PPP"または"IP"と入力します。
 "APN":接続先(APN)の名称を"で囲んで入力します。
- 現在の接続先(APN)設定を確認したい場合は「AT+CGDCONT?□」と入力すると、接続先(APN)設定が 一覧画面で表示されます。

ATコマンドを入力しても画面に何も表示されない場合

ATE1
 詳しくは、P.23を参照してください。

ATコマンドで接続先(APN)設定をリセットする場合

- AT+CGDCONT= : すべてのcidをリセットします
- AT+CGDCONT=<cid>↓:特定のcidのみリセットします
- リセットした場合、<cid>=1、3は「mopera.net」(初期値)、<cid>=4は「mpr.ex-pkt.net」(初期値)に戻り、<cid>=2、 5~10の設定は未登録になります。

ATコマンドで接続先(APN)設定を確認する場合

AT+CGDCONT?
 詳しくは、P.19を参照してください。

👖 設定が完了したことを確認し、通信ソフトを終了する。

発信者番号の通知/非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

1 通信ソフトを起動する。

🕊 パケット通信時の発信者番号の通知(186)/非通知(184)を設定する。

「AT*DGPIR=<n>」の形式で入力します(27 P.18)。
 AT*DGPIR=1□:パケット通信確立時、接続先(APN)に「184」を付けて接続します。
 AT*DGPIR=2□:パケット通信確立時、接続先(APN)に「186」を付けて接続します。

🔧 設定が完了したことを確認する。

■ダイヤルアップネットワークでの通知/非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」(通知) / 「184」(非通知)を付けることができます。

*DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」(通知)/「184」(非通知)の設定を行った場合は、次のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定 (<cid>=2の場合)</cid>	*DGPIRコマンドによる通知/非通知 設定	発信者番号の通知/非通知
*99***2#	設定なし(初期値)	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184*99***2#	設定なし(初期値)	非通知(ダイヤルアップネットワーク
	非通知	の「184」が優先される)
	通知	
186*99***2#	設定なし(初期値)	通知(ダイヤルアップネットワークの
	非通知	「186」が優先される)
	通知	

● 「186」(通知) / 「184」(非通知) を[設定なし] (初期値) に戻すには、「AT*DGPIR=0」と入力してください。

 ●ドコモのインターネット接続サービスmopera Uをご利用になる場合は、発信者番号を[通知]に設定する必要 があります。

ダイヤルアップネットワークを設定する

接続先およびTCP/IPプロトコルを設定します。設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ 接続先について

パケット通信では、あらかじめ接続先(APN)設定をしておきます。接続先(APN)設定で1~10の管理番号(cid)に 接続先(APN)を登録しておけば、その管理番号を指定してパケット通信ができます。接続先(APN)設定とはパソ コンでパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、通常の電話帳と比較すると次のようになります。

電話帳の登録	パケット通信の設定
登録番号(メモリ番号)	1~10の管理番号(cid)
相手の名前	接続先の名前(接続先(APN))
相手の電話番号	*99*** <cid>#</cid>

たとえば、mopera Uの接続先(APN)、「mopera.net」をcid1に登録している場合、「*99***1#」という接続先番号を指定すると、mopera Uに接続できます。他のcidに登録した場合も同様です。

*99***1# :cid1に登録した接続先(APN)に接続します。*99#でも接続できます。

*99***2# :cid2に登録した接続先(APN)に接続します。

2

*99***10# :cid10に登録した接続先(APN)に接続します。

お買い上げ時、cid1にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」、〈PDP_type〉は「PPP」が、cid3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」、〈PDP_type〉は「IP」が、cid4にはmopera Uに接続するためのAPN「mpr.expkt.net」、〈PDP_type〉は「PPP」が登録されています。mopera Uの接続先(APN)以外のインターネットサービスプ ロバイダや企業LANに接続する場合は、cid2、5~10に接続先(APN)を登録してください(**GP**P.9)。 64Kデータ通信では、接続先にはインターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者から指定されたアク

セスポイントの電話番号を入力します。

- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- パケット通信をご利用の場合の接続先番号は、mopera Uをご利用の場合「*99***3#」です(お買い上げ時)。

■ダイヤルアップネットワークの設定をする

「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先(APN)を設定します。

- <例>Windows 8.1で、<cid>=3を使いドコモのインターネット接続サービスmopera Uへ接続する場合
- Windows 8、Windows 7、Windows Vistaをご使用のときは、画面の表示が異なる場合があります。
- mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。

【スタート画面 ▶ [デスクトップ]をクリックし、画面右上にカーソルを合わせ、[設定] ▶ [コントロールパネル]を順にクリックする。

Windows 7の場合 1 [スタート]メニュー▶ [コントロールパネル]をクリックする。 Windows Vistaの場合 1 [スタート]メニュー▶ [接続先]をクリックし、操作4へ進む。

႗ [ネットワークとインターネット]をクリックする。

【 [ネットワークと共有センター]をクリックする。

• ネットワークに接続画面が表示されます。

┃ [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックする。

ネットワークに接続画面が表示されます。
 Windows Vistaの場合

 【「接続またはネットワークをセットアップします]をクリックする。

5 [インターネットに接続します] ▶ [次へ] ▶ [ダイヤルアップ]を順にクリックする。

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「どのモデムを使いますか?」という画面が表示 されますので、「FOMA SH07F]を選んでください。
- ダイヤルアップ接続の作成画面が表示されます。

Windows 7、Windows Vistaの場合

1 [ダイヤルアップ接続をセットアップします] ▶ [次へ]をクリックする。

6 [ダイヤルアップの電話番号]に接続先の 番号、[接続名]に任意の接続名を入力して [接続]をクリックする。

- [ダイヤルアップの電話番号]は、ここでは<cid>=3 (mopera U)への接続のため、「*99***3#」を入力し ます。
- mopera Uをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パス ワード]については空欄でも接続できます。
- mopera U以外のプロバイダに接続する場合の[ユー ザー名]と[パスワード]は、プロバイダご使用のユー ザー名とパスワードを入力してください。

● ◆ インターネットへの接続		×
インターネット サービス プロ	バイダー (ISP) の情報を入力します	
ダイヤルアップの電話番号(D):	*99***3#	ダイセル情報
ユーザー名(<u>U</u>):	[ISP から付与されたユーザー名]	
パスワード(E):	[ISP から付与されたパスワード]	
	□パスワードの文字を表示する(S) □このパスワードを記憶する(B)	
接続名(N):	foma	
1 他の人がこの接続を使うここのオプションによって、この	とを許可する(A) コンピューターにアクセスがあるすべての人がこの接針	焼を使えるようになります。
ISP がありません		
		作成(C) キャンセル

7 [(接続名)に接続中]と表示されたら、[スキップ]をクリックする。

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認のみを行います。
- [スキップ]をクリックしなかった場合、インターネットに接続されます。

👭 [閉じる]をクリックする。

Windows Vistaの場合

1 [接続をセットアップします]をクリックし、[閉じる]をクリックする。

G スタート画面 ▶ [デスクトップ]をクリックし、画面右上にカーソルを合わせ、[設定] ▶ [コントロールパネル]を順にクリックする。

Windows 7の場合

1[スタート]メニュー▶[コントロールパネル]をクリックする。

Windows Vistaの場合

1 [スタート] メニュー ▶ [ネットワーク]をクリックする。

2[ネットワークと共有センター] ▶ [ネットワーク接続の管理]を順にクリックし、操作12へ進む。

111 [ネットワークとインターネット]をクリックする。

11 [ネットワークと共有センター] ▶ [タスク]の[アダプターの設定の変更]をクリックする。

• ネットワーク接続画面が表示されます。

17 作成した接続先アイコンを選んで、右クリックで[プロパティ]を選ぶ。

プロパティ画面が表示されます。



- パソコンに2台以上のモデムが接続されているときは、[接続の方法]の[FOMA SH07F]が回になっているか確認します。□の場合は、回にします。また、 [FOMA SH07F]以外のモデムの回を□にします。
- [ダイヤル情報を使う]が□になっていることを確認します。☑の場合は、□にします。

	fomaのプロパティ	
全般	オプション セキュリティ ネットワーク 共有	
接	続の方法(<u>工</u>):	
	② モデム - FOMA SH07F (COM6) ② エデム - 標準 56000 bps エデム (COM1)	
	₽	
~	すべてのデバイスで同じ番号を呼び出す(L) 構成(O)	
~	最初に利用できるデバイスのみダイヤルする(<u>A</u>)	
-i	電話番号	11
	市外局新(F): 重託兼号(P) :	
	✓ *99***3# その他(N)	
	国番号/抑城番号(G):	
	V	
	「ダイヤル情報を使う(S) ダイヤル情報(R)	
-		
2	71//ンーに関りる声明	
	OK キャンセル	
_		-

14 [ネットワーク]タブをクリックし、各項目 の設定を確認する。

 ・
 にこの接続は次の項目を使用します]の欄は、[イン ターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]の みを
 ・
 にします。[QoSパケットスケジューラ]は、 ご使用のプロバイダの指示に従って設定してください。

この接続は次の	項目を使用します(<u>_):</u>		
 - インター・ - インター・ - 川川 Micros □ 壁 Micros 	ネット フロトコル パー ネット プロトコル パー oft ネットワーク用フ: oft ネットワーク用ク?	・ジョン 6 (TCF ・ジョン 4 (TCF ァイルとプリンタ・ ライアント	//IPv6) //IPv4) -共有	
	(N) 愛アン・ rsion 6 です。多様 きる最新のインターネ	インストール(U) な内部接続の ット プロトコル?) カ ネットワークを ます。	コバティ(<u>R</u>) t超えて、通

15 [オプション]タブをクリックし、[PPP設定]をクリックする。

• PPPの設定画面が表示されます。

<mark>16</mark> すべての項目を□にし、[OK]をクリック する。

オプション設定画面に戻ります。

F	PPP 設定	×
□ LCP 拡張を使う(E)		
□ ソフトウェアによる圧縮を行う	<u>(N)</u>	
□ 単一リンク接続に対してマル	チリンクをネゴシエート	する(<u>M</u>)
	01	البط حرفي ا

17 [OK]をクリックする。

- 接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。
- ダイヤルアップ接続するにはP.13を参照してください。

ダイヤルアップ接続する

<例>Windows 8.1でFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用してダイヤルアップ接続する場合 ● Windows 8. Windows 7. Windows Vistaをご使用のときは、画面の表示が異なる場合があります。

FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02でパソコンに接続する。

2 スタート画面 ▶ [デスクトップ]をクリックし、画面右上にカーソルを合わせ、[設 定] ▶ [コントロールパネル]を順にクリックする。

Windows 7の場合 1 [スタート]メニュー ▶ [コントロールパネル]をクリックする。 Windows Vistaの場合 1 [スタート] メニュー ▶ [接続先]をクリック」、操作6へ進む。

ୟ [ネットワークとインターネット]をクリックする。

👖 [ネットワークと共有センター]をクリックする。

┓ [タスク]の[アダプターの設定の変更]をクリックする。

ダイヤルアップネットワーク画面が表示されます。

6 接続先のアイコンをダブルクリックし、接 続先を選んで[接続]をクリックする。

接続画面が表示されます。
 Windows 7、Windows Vistaの場合

1 接続先のアイコンをダブルクリックする。

接続先のアイコンを選んで[ファイル]メニューの[接続]を選んでも、接続画面が表示されます。



7 各項目を確認し、[ダイヤル]をクリックす る。

- 接続先へ接続されます。
- [ダイヤル]には「ダイヤルアップネットワークを設 定する」(☞P.10)で設定した電話番号が表示されま す。
- 接続先がmopera Uの場合、[ユーザー名]と[パス ワード]については空欄でも接続できます。



■ 切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作をしてください。

1 タスクトレイの[**[**]] ▶ 切断先をクリックし、[切断]をクリックする。

• 接続が切断されます。

Windows Vistaの場合

1 タスクトレイの[図] ▶ [接続または切断...]をクリックし、切断先のアイコンをダブルクリッ クする。

データの送受信(OBEX[™]通信)について

FOMA端末内のデータをパソコンと送受信する

- FOMA端末は、データ通信用のプロトコルとして、OBEX[™]機能を持っています。FOMA端末をFOMA 充電機能 付USB接続ケーブル 02(別売)でパソコンに接続し、本データ通信(OBEX[™]通信によるデータの送受信)を 使って電話帳、電話番号表示の所有者情報、スケジュール、送信メール(SMS含む)、受信メール(SMS含む)、未 送信メール(SMS含む)、エリアメール、メモ、メロディ、マイピクチャ、iモーション、マイドキュメント、ブッ クマーク、トルカ、デコメアニメ[®]テンプレート、設定情報のデータを送受信できます。
- FOMA端末では、次の3通りのデータ送信が可能です。
 - パソコンからFOMA端末にデータを1件ずつ送信する(1件書き込み)
 - パソコンからFOMA端末にデータを一括して送信する(全件書き込み)
 - FOMA端末からパソコンにデータを一括して送信する(全件読み出し)
- ・データの送受信中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、i モードやi モードメール、パケット通信などはできません。
- データの送受信終了後、しばらく[圏外]と表示される場合があります。
- FOMA端末とパソコンが正しく接続されているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの 送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池残量が十分残っていることを確認してください。電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- パソコンの電源についても確認してください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- 待受画面の状態でデータ通信を行ってください。待受画面に動画/iモーションを設定している場合は、動画/ iモーションの再生を停止してからデータ通信を行ってください。
- 通信中(音声通話やテレビ電話、データ通信)にデータの送受信はできません。また、データの送受信中には他の通信 もできません。ただし、データの送受信開始直後などは着信を受ける場合があります。その場合、データの送受信が中止されます。
- ドコモminiUIMカード内の電話帳は送信できません。
- i アプリの起動指定が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信されます。
- 本文と合わせて100Kバイトを超えるメールの添付データは削除して送信されます。
- オールロックまたはパーソナルデータロックが設定されている場合、電話帳などのデータの送受信はできません。
- ダイヤル発信制限が設定されている場合、電話帳のデータは送受信できません。
- データの大きさによっては、送受信に時間がかかる場合があります。また、データの大きさによってはFOMA端末で 受信できない場合があります。
- 電話帳のデータを受信する場合、1件受信のときは、メモリ番号[0010]から、全件受信のときは、メモリ番号の情報 に従って登録します。
- 電話帳を全件受信すると、電話番号表示に登録されているプロフィール(1件目の電話番号を除く)も上書きされます。
- 電話帳はメモリ番号順に送信されます。
- 全件送信を行うと電話番号表示のプロフィールは電話帳と一緒に送信されます。
- 2Mバイトを超えるPDFは送信できません。
- データの送受信(OBEX)は次の方法で行うこともできます(機能によっては送受信できないデータがあります)。
 - 赤外線通信 i C通信 microSDカード

■ データの送受信(OBEX[™]通信)に必要な機器

- データの送受信を行うには、OBEX[™]規格に準拠したデータ転送用のソフトをインターネットからダウンロードし、パソコンにインストールする必要があります。データ転送用のソフトの動作環境、インストール方法については、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。また、あらかじめFOMA通信設定ファイルのインストール(でア.5~P.6)が必要です。
- FOMA端末とパソコンの接続には、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02が必要です。
- FOMA端末のデータの送受信(OBEX[™]通信)機能は、IrMC[™] 1.1規格に準拠しています。ただし、相手機器がIrMC[™] 1.1 規格に準拠していてもアプリケーションによっては送受信できないデータがあります。

データを1件送信する(1件書き込み)

- パソコンからFOMA端末へデータを1件ずつ送信します。
- FOMA端末からパソコンへ1件ずつ送信することはできません。
- ●データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信(1件書き込み)の操作を 行う。

- データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。
- 電話帳のデータを1件ずつ受信するとき(パソコンからFOMA端末へ送信するとき)は電話帳のメモリ番号[0010]~ [1999]の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。[0010]~[1999]がすべて登録されているときは、[0000]~[0009]の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。
- 電話帳のデータを受信した場合、すでに名前や電話番号またはメールアドレスが2000件登録されているときや2000件を超えるときは、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。

データを全件送信する(全件書き込み/全件読み出し)

- パソコンとFOMA端末の間で一括書き込みと一括読み出しができます。
- ●「全件書き込み」あるいは「全件読み出し」の操作では、データ転送用のソフトとFOMA端末の両方で認証パス ワードを入力する必要があります。
- データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信(全件転送)の操作を行う。

- データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。
- パソコン側でも認証パスワードの入力が必要です。
- 認証パスワードは4桁の数字を入力してください。

2 FOMA端末で、端末暗証番号(4~8桁の数字)と認証パスワード(4桁の数字)を入 カする。

<mark>7</mark> データ送信を開始する。

- パソコンからFOMA端末への全件書き込みを行うとFOMA端末のデータはすべて書換えられます。元のFOMA端末のデータは消去されますので、ご注意ください。シークレット登録した電話帳、スケジュール、保護されたメールを含みます。ただし、データBOXの画像やiモーション、メロディ、PDF、またはデコメアニメ®テンプレートの場合、元のデータは削除されずに追加保存されます。
- パソコンからFOMA端末への全件書き込みの途中で送信エラーガ起こると、送信中のFOMA端末のすべてのデータ が消去されることがあります。全件書き込みの前にケーブルの接続、FOMA端末の電池残量、パソコンの電源の状態 を確認してください。
- 相手の機器によっては、通信状況(バー表示)が表示されないことがあります。

ATコマンド一覧

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。

■ ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ずATを付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。

入力例

ATD*99***1#

リターンマーク:Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。

パラメータ:コマンドの内容です。

コマンド:コマンド名です。

ATコマンドはコマンドに続くパラメータ(数字や記号)を含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から回を押した直前までの文字のことで、160文字(AT含む)まで入力できます。

■ ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作するには、バソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- オフラインモード
- FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作を行います。 ● オンラインデータモード

FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま 通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでく ださい。

- オンラインコマンドモード FOMA端末が通信中の状態でも、特別な操作をすると、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態になりま す。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。
- 外部機器から64Kデータ通信で発信を行った場合、2in1のモードが[Aモード]/[デュアルモード]のときはAナン バーで発信します。[Bモード]のときはBナンバーで発信します。ただし、[デュアルモード]設定時のATコマンドによ るリダイヤル発信を行った場合は、最後に発信したナンバーでリダイヤル発信します。
- ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末(ターミナル)のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ボートに接続されている機器や回線に送られます。

■オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

- FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。
- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- AT&D1に設定されているときに、RS-232C[※]のER信号をOFFにします。
- また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、ATO Uと入力します。
- ※ USBインターフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

-[M]:FOMA SH07F Modem Portで使用できるATコマンドです。

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT [M]	_	本コマンドのあとに本一覧表のコマンドを付 加することでFOMA端末のモデム機能を制御 することができます。 ※ ATのみ入力した場合でもOKが応答されま す。	AT. OK
	FOMA端末のバージョンを表示し ます。 ^{※ 2}	-	AT%V Ver 1.00
AT&C <n></n>	DTEへの回路CD(DCD)信号の動 作条件を設定します。 ^{※ 1}	n=0:回路CDを常にON n=1:回路CD信号は回線接続状態に従って変化 (お買い上げ時) &C1に設定する場合は、接続完了時の CONNECTを送出する直前にCD信号を「ON」 にします。回路が切断され、"NO CARRIER" を送出する直前にCD信号を「OFE」にします。	AT&C1
AT&D(n)	オンラインデータモードのとき に、DTEから受け取る回路ER (DTR)信号が[ONJから[OFF]に 変わったときの動作を設定しま す。 ^{※1}	n=0:状態を無視(常にONとみなす) n=1:ONからOFFに変わるとオンラインコマ ンドモード状態になる n=2:ONからOFFに変わると回線を切断しオ フラインモード状態になる(お買い上げ 時)	AT&D1
AT&E <n> [M]</n>	接続時の速度表示仕様を選択しま す。 ^{※ 1}	n=0 :無線区間通信速度を表示 n=1 :DTEシリアル通信速度を表示(お買い上 げ時)	AT&E0 . OK
AT&F <n></n>	FOMA端末のATコマンド設定値 をお買い上げ時の状態にリセット します。通信中に本コマンドを入 力した場合は、回線を切断してか らリセットします。※2	n=0のみ指定可能(省略可)	AT&F OK
AT&S <n> [M]</n>	DTEへ出力するデータセットレ ディ(DR)信号の制御のしかたを 設定します。 ^{※1}	n=0 :常時ON(お買い上げ時) n=1 :回線接続時にDR信号ON	AT&SO . OK
AT&W <n> [M]</n>	現在の設定値をFOMA端末に記憶 します。 ^{※2、※5}	n=0のみ指定可能(省略可)	AT&W . OK
AT*DANTE	FOMA端末の電波の受信状態を表 示します。 ^{※2}	本コマンドにより応答されるリザルトは次の 書式とします。 *DANTE <m> (m> 0:FOMA端末にて圏外と表示される状態 1:FOMA端末にてアンテナ本数0本もしく は1本の状態 2:FOMA端末にてアンテナ本数2本の状態</m>	AT*DANTE *DANTE:3 OK
	パケット美信呕口하すて美信任	3:FOMA端末にてアンテナ本数3本の状態	
[M]	ハワット看信呼に対する看信拒 否/許可設定のモードを設定しま す。本コマンドの設定は、設定コマ ンド入力後のパケット通信着信呼 のみ有効です。 ^{※2}	 □=0:着信担否設定および看信計可設定を [OFF]に設定(お買い上げ時) n=1:着信拒否設定を[ON]に設定 n=2:着信許可設定を[ON]に設定 	A T*UGANSM=U OK AT*DGANSM? *DGANSM:0 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT*DGAPL <n> [<cid>]</cid></n>	パケット着信呼に対して着信を許 可する接続先(APN)を設定しま す。APN設定は「+CGDCONT」で 定義された <cid>パラメータを使 用します。**2</cid>	<n>パラメータによって着信許可リストへの 追加および削除を指定し、<oid>パラメータを 省略した場合は、<oid>のすべてをリストに追 加(<n>=0)あるいは削除(<n>=1)します。本コ マンドで追加(削除)しようとする<<id>が 「+CGDCONTJコマンドで定義されていない 場合でも、リストへ追加(削除)できます。 n=0:リストへ追加(ごは)で定義されたAPNを 着信許可リストに追加) n=1:リストから削除(<oid>で定義されたAPN を着信許可リストから削除)</oid></id></n></n></oid></oid></n>	AT*DGAPL=0,1 OK AT*DGAPL? *DGAPL:1 OK
T*DGARL= <n> [<cid>]</cid></n>	パケット着信呼に対して着信を拒 否する接続先(APN)を設定しま す。APN設定は「+CGDCONT」で 定義された <cid>パラメータを使 用します。^{※2}</cid>	(n>パラメータによって着信拒否リストへの 追加および削除を指定し、 <cid>パラメータを 省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追 加(<n>=0)あるいは削除(<n>=1)します。本コ マンドで追加(削除)しようとする<cid>が 「+CGDCONT」コマンドで定義されていない 場合でも、リストへ追加(削除)できます。 n=0:リストへ追加((ごd)で定義されたAPNを 着信拒否リストに追加) n=1:リストから削除(<cid>で定義されたAPN を着信拒否リストより削除)</cid></cid></n></n></cid></cid>	AT*DGARL=0,1 OK AT*DGARL? *DGARL:1 OK
AT*DRPW	FOMA端末から通知される受信電 力値を表示します。 ^{※2}	本コマンドにより応答されるリザルトは次の 書式とします。 *DRPW: <m> m:0~75(倍信電力の値)</m>	AT*DRPW *DRPW:0 OK
AT*DGPIR= <n></n>	本コマンドの設定は、発信時に有 効です。ダイヤルアップネット ワークの設定でも、接続先の番号 に186(通知)/184(非通知)を付 けることができます。 ^{※2}	n=0:パケット通信確立時、接続先(APN)にその まま接続(お買い上げ時) n=1:パケット通信確立時、接続先(APN)に184 を付けて接続 n=2:パケット通信確立時、接続先(APN)に186 を付けて接続 本コマンドとダイヤルアップネットワークの 両方で186(通知) / 184(非通知)を設定した 場合については、P.9Fダイヤルアップネット ワークでの通知/非通知設定について」を参照してください。	AT*DGPIR=0 OK AT*DGPIR? *DGPIR:0 OK
 +++	FOMA端末のモードをオンライン データモードからオンラインコマ ンドモードへ移行します。 エスケープガード区間は、1秒の 固定値です。 ^{※2}	_	(通信中) +++(表示は見え ない) OK
AT+CACM=[<p asswd>] [M]</p 	UIMに記録される累積課金値をリ セットします。 ^{※2}	本コマンドで、バスワードガー致した場合は、 UIMに記録される累積課金値をリセットしま す。 <passwd>: SIM PIN2 ※ ストリングバラメータであり、入力時は "で 囲みます。</passwd>	AT+CACM="0123"
AT+CAOC=[<m ode>] [M]</m 	現在の課金値の問い合わせを行い ます。 ^{※2}	<mode> 0:現在の呼の課金を問い合わせる 本コマンドにより応答されるリザルトは次の 書式とします。 +CAOC."<com>"</com></mode>	AT+CAOC +CAOC:"00001E" OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CBC	バッテリー状態の問い合わせを行	本コマンドにより応答されるリザルトは次の	AT+CBC
	います。 ^{※ 2}	書式とします。	+CBC:0,80
		+CBC: <bcs>,<bcl></bcl></bcs>	
			OK
		<pre><dcs2< pre=""> 0 · バッテリーによりFOMA端末が動作して</dcs2<></pre>	
		いる状態	
		1:充電中	
		2:バッテリー未接続状態	
		3:減電中	
		(hel)	
[M]		0~100(バッテリー残量)	
AT+CBST=[<sp< td=""><td>発信時のベアラサービスの設定を</td><td><speed></speed></td><td>AT+CBST=116,1,0</td></sp<>	発信時のベアラサービスの設定を	<speed></speed>	AT+CBST=116,1,0
eed>[, <name>[,<</name>	行います。AT+FCLASS= <n>コマ</n>	116:64Kデータ通信(お買い上げ時)	
ce>]]]	ンド(愛 P.22)が0のときのみ有効		OK
	ੱਤੇ. ^{*1}	〈name〉	
[M]		0:固定値	
AT+CEER	直前の通信の切断理由を表示しま	「切断理由一覧」を参照(2 7P.26)。	AT+CEER
	ರ. ^{%2}		+CEER:36
[M]			OK
AT+CGDCONT	//ケット発信時の接続先(APN)を	ATコマンドの補足説明」を参照(127 P.26)。	ATコマンドの補
[NA]	設定しよ9。 ^{m-}		上記明」と参照 (125-12-26)。
AT+CGEOMIN	パケット通信確立時にネットワー	「ATコマンドの補足説明」を参照(☞ P.27)。	(ATコマンドの補
	ク側から通知されるQoS(サービ		足説明」を参照
	ス品質)を許容するかどうかの判		(127 P.27)。
[M]	定基準値を登録します。※2		
AT+CGEQREQ	パケット通信時の発信時にネット	「ATコマンドの補足説明」を参照(☞P.28)。	「ATコマンドの補
[NA]	フークハ安水するQOS(リーヒス) 品質)を設定します。※2		正説明」で参照 (1第 −−28)。
AT+CGMR	EOMA端末のバージョンを表示し		AT+CGMR
	ます。*2		1234567890123
		—	456
	ういしつ 刀巡径小台にないるかつナマ		
AI+CGREG=(h)	イットワーク豆球状態を通知する かどうかを設定します 通知され	<n><n><n><</n></n></n>	AT+CGREG=T
	ている内容は圏内/圏外です。※1	0.00000000000000000000000000000000000	(通知ありに設定)
		AT+CGREG=1に設定すると、	AT+CGREG?
		"+CGREG: <stat>"の形式で通知されます。</stat>	+CGREG: 1,0
		<stat>バラメータは、0,1,4,5をサポートしま</stat>	OK
		9₀ <stat></stat>	○へ
		0:圈外	いる)
		1 :圏内(home)	+CGREG:1
		4:不明	(圏外から圏内に
[M]		5:圏内(visitor)	移動した場合)
AI+CGSN	FUMA端末の製造番号を表示しま オ ※2		AI+CGSN
	9		45
[M]			OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CLIP= <n></n>	64Kデータ通信の着信時に、相手	<n></n>	AT+CLIP=0
	の発信番号をパソコンに表示でき	0:リザルトを出さない(お買い上げ時)	OK
	ます。 ** '	1:リザルトを出す	
		「オキモビド!」のとき、キモビドスロルを表示	
		<m></m>	10211.0,1
		0:発信時に相手に番号を通知しないNW設定	ОК
		1:発信時に相手に番号を通知するNW設定	
[M]		2:不明	
AT+CLIR= <n></n>	64Kデータ通信の発信時に、電話		AT+CLIR=0
	番号を相手側に通知するがこうが を設定します ※2	0:サービスご契約の設定とのり 1:涌知したい	UK
	CILCA9.	2:通知する(お買い上げ時)	AT+CLIR?
		AT+CLIR?のとき、+CLIR: <n>,<m>を表示し</m></n>	+CLIR:2,3
		ます。	
			OK
		U:CLRは起動していない(常時通知) 1・CLRは逆時お動している(常時非)るの)	
		2:不明	
		- , , , , 3 3 :CLIRテンポラリ・モード(非通知デフォル	
		ト)	
[M]		4:CLIRテンポラリ・モード(通知デフォルト)	
AT+CDIP= <n></n>	着サブアドレスの通知の有無を設		AT+CDIP=0
	定します。また、マルチナンハー契約 対理 な 変 認 で を ま す	U:サノアドレスを表示しない (お買いとげ時)	OK
		(の夏いエク時) 1:サブアドレスを表示すろ	AT+CDIP?
		<pre><m></m></pre>	+CDIP:0,1
		0:マルチナンバー未契約	
5 - F		1:マルチナンバー契約中	OK
		2:个明	
AI+CMEE= <n></n>	FOMA端木の上フーレホートの有 毎を設定 ます ※1	上フーを ERROR のみで表示するか、埋田 を立字あるいけ物値でしポートするかを設定	AT+CMEE=U
	meddels 9.	します。	AT+CNUM
		<n></n>	ERROR
		0:リザルトコードを使用せずに"ERROR"	AT+CMEE=1
		を表示(お買い上げ時)	OK
		「リサルト」 トを使用し、剱子で埋田を表	
			TOME LANON, 10
		示	
		「n=1」または「n=2」でエラーレポート表示に設	
		定した場合、エラーレポートは次のように表	
		示されます。 +CME ERPORYYYY	
		xxxxには数字または文字が表示されます。	
[M]		「エラーレポート一覧」(☞ P.26)	
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示しま	number :電話番号	AT+CNUM
	す。 ^{※2}	type :129もしくは145	+CNUM:,"+8190
			12345678",145
[N]		123・国際アクセスコート+を含まない 145・国際アクセフコード+を含ま	OK
LIVIJ	1		UN

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+COPS-[<m ode>[.<format>[, <oper>]]]</oper></format></m 	接続する通信事業者を選択しま す。 ^{※ 2}	〈mode〉 0:オート(自動的にネットワークを検索して通信事業者を切り替える) 1:マニュアル(<oper>に指定された通信事業者と切りまされた通信事業者との接続を解除(切断)する ※非サポートとなります。 3:マッピングを行わない 4:マニュアルオート(<oper>に指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行う) ※非サポートとなります。</oper></oper>	AT+COPS =1,2,"44F001" OK (MCC:440MNC: 10亿接続)
[M]		<pre><format> 2 :固定値 </format></pre> coper>は国番号(MCC)とネットワーク番号 (MNC)からなる16進数の値で示します。 書式は次のとおり。 Digit 1 of MCC・・octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC・・octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC・・octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC・・・octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC・・・octet 3 bits 5 to 8. Digit 1 of MNC・・・octet 3 bits 1 to 4.	
AT+CPAS [M]	FOMA端末のアクティビティー状 態問い合わせを行います。 ^{※2}	本コマンドにより応答されるリザルトは次の 書式とします。 +CPAS <pas> 0:ATコマンド送受信可能 1:ATコマンド送受信不可能(+CPAS:1のリ ザルトを送出しない) 2:不明 3:ATコマンド送受信可能かつ着信中 4:ATコマンド送受信可能かつ通信中</pas>	AT+CPAS +CPAS:0 OK
AT+CPIN=(pin>[, <newpin>]</newpin>	UIMI2関するパスワード (PIN1,PIN2)の入力を行います。 ^{※2}	<pre><pin> PIN1入力待ち状態ではPIN1を入力(<pin>パラ メータのみ入力) PIN2入力待ち状態ではPIN2を入力(<pin>パラ メータのみ入力) PUK1入力待ち状態ではPUK1を入力 PUK2入力待ち状態ではPUK2を入力 ※ ストリングパラメータであり、入力時は" " で囲みます <newpin> PUK1入力待ち状態では新しいPIN1を入力 PUK2入力待ち状態では新しいPIN1を入力 PUK2入力待ち状態では新しいPIN2を入力 ※ ストリングパラメータであり、入力時は" " で囲みます</newpin></pin></pin></pin></pre>	AT+CPIN? +CPIN:SIM PIN1 OK (PIN1入力待ち状 態を表している) AT+CPIN="1234" のK AT+CPIN? +CPIN:SIM PUK1 OK (PUK1入力待ち状 態を表している) AT+CPIN="12345 678","1234" のK
			OK
IAI+UH=(mode)	ビロ豚友航街に CONNECT のり ザルトコードが表示される前に、パ ケット通信/64ビデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1 パケット通信のときは、"GPRS" と表示され64ビデータ通信のとき は"SYVIC"と表示されます	(mode) 0 :回線接続時に表示しない (お買い上げ時) 1 :回線接続時に表示する	OK ATD*99***1# +CR:GPRS CONNECT

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CRC= <n></n>	着信時に拡張リザルトコードを使	n=0:拡張リザルトコードを使用しない(お買	AT+CRC=0
5. J.T.	用するかどうかを設定します。※1		OK
		n=1: 払張リサルト Jードを使用する	AT: 0050 40
AI+CREG= <n></n>	イツトワークの圏内/圏外情報を	AI+CREG=Iと設定すると、 +CREG:(stat) の形式で通知されます /otot)パラメータけ	AT+CREG=T
	衣が950C 70 202C C 4	0145をサポートします。	(通知ありに設定)
	> 0	<n></n>	AT+CREG?
		0:通知なし(お買い上げ時)	+CREG: 1,0
		1:通知あり	
		〈stat〉 o.國初	UK (圏内も寄吐」 て
		U · 图力(home)	(固)たる息味して
		4:不明	+CREG:1
		5:圏内(visitor)	(圏外から圏内に
[M]			移動した場合)
AT+CUSD=[<n></n>	付加サービスなどに関し、網側の		AT+CUSD=0,"xxx
[, <str>[,<acs>]]]</acs></str>	設定を変更します。^^	U:中间リサルトを心合せす、UKを心合する (お買い上げ時)	XXX 🖃
		(の負い工)時) 1:中間リザルトを応答する	UK
		<str></str>	
		サービスコード	
D. (7		<dcs></dcs>	
	エード記点を行います※1		
MITFULASS=(N)	モート設定を打います。…	(1)(0):データ(固定値)	OK
AT+GCAP	FOMA端末の能力リストを表示し		AT+GCAP
	ます。 ^{※2}		+GCAP:+CGSM,
		—	+FCLASS,+W
[N 4]			OK
AT+GMI	FOMA端末のメーカの名前が半角		AT+GMI
	英数字で表示されます。※2		SHARP
			UK
AT+GMM	FUMA端木の製品名の略称		AI+GMML
	トおよび数字で表示されます。※2	—	
[M]			ОК
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示し		AT+GMR
	ます。** ²		Ver 1.00
[N 4]			OK
AT+IEC= <pre>nm></pre>	パソコンとFOMA端末間のローカ		
	ルフロー制御方式を設定しま	0:フロー制御を行わない	OK
	す。 ^{※1}	1 :XON/XOFFフロー制御を行う	
		2:RS/CS(RTS/CTS)フロー制御を行う	
		(の買い上げ時) DTE hu DCE((m))	
		0:フロー制御を行わない	
		1:XON/XOFFフロー制御を行う	
		2 :RS/CS(RTS/CTS)フロー制御を行う	
[M]		(お買い上げ時)	
AT+WS46?	海外ネットワークサーチの3G/	本コマンドにより応答されるリザルトは次の	AT+WS46?
	USIVIUU省設止に低い、心合を行い ます。※2	言いこします。 〈n〉	20
		12:GSM/GPRSモード設定時	ОК
		22:3Gモード設定時	(自動モード設定
[M]		25:目動モード設定時	時)

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行 するときに使用します。 ^{※2}	_	A/ OK
ATA [M]	パケット着信および64Kデータ通 信の着信時に入力すると、着信処 理を行います。※2	パケット着信中には、「ATA184回」(発信者番 号通知なし着信動作)および「ATA186回」(発 信者番号通知あり巻信動作)を入力できます。	RING ATA CONNECT
ATD [M]	発信処理を行います。 ^{※2} 、 ^{※3}	 パケット通信ATD499#kwk:cid)#□ パケット通信ATD499#kwk:cid)#□ ATD*99#を入力した場合: <cid><id><id><id><id><id><id><id><id><id><</id></id></id></id></id></id></id></id></id></cid>	ATD*99***1#
ATE <n></n>	パソコンから送信された本コマン ドに対して、FOMA端末ガエコー を返すかどうかを設定します。 ^{※1}	n=0:エコーバックなし n=1:エコーバックあり(お買い上げ時) 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機 能がある場合、n=0に設定してください。	ATE1 OK
ATH [M]	パケット通信および64Kデータ通 信時に入力すると、回線を切断し ます。 ^{※2}	_	(通信中) +++(表示は見え ない) OK ATH NO CARRIER
ATKn>	確認コードを表示します。 ^{※2}	n=0:NTT DoCoMo n=1:製品名の略称を表示(FOMA SH07F) n=2:製品のバージョンを"VerX.XX"などの 形式で表示 n=3:ACMP信号の各要素を表示 n=4:FOMA端末の有する通信機能の詳細を表 示	ATIO NTT DoCoMo OK
ATO [M]	通信中にオンラインコマンドモー ドからオンラインデータモードに 戻ります。 ^{※2}	_	ATO CONNECT
ATQ <n> [M]</n>	リザルトコードを表示するかどう かを設定します。 ^{※ 1}	n=0:リザルトコードを表示する (お買い上げ時) n=1:リザルトコードを表示しない	ATQ0 . OK
ATV <n> [M]</n>	リザルトコードの表示方法を設定 します。 ^{※ 1}	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは 英文字表記で表示します。 n=0:リザルトコードを数字表記で表示 n=1:リザルトコードを英文字表記で表示 (お買い上げ時)	ATV1. OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATX <n></n>	接続のCONNECT表示に速度表示	ビジートーン検出:	ATX1
	の有無を設定します。また、ビジー	接続先が通話中のとき、BUSY応答を送出し	OK
	トーン、ダイヤルトーンの検出を		
	110,9.0	FOMA端末に接続されているかどうかを判	
		定します。	
		速度表示:	
		接続時のCONNECT表示に速度を表示する	
		かとつかを設定します。 n=0・ビジート> 検出なし ダイヤルト>	
		検出なし、速度表示なし	
		n=1:ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン	
		検出なし、速度表示あり	
		n=2:ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン 絵中あい 速度表示あい	
		n=3:ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン	
		検出なし、速度表示あり	
		n=4:ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン	
		検出のり、速度表示のり(お買い上け時)	(
AIZ <n></n>	FOMA端木のAIコマント設定値 をリセットします ※2、※4	FUMA端木のAIコイント設定値を个連充メ モリの内容にリカットします 通信中に木コ	(オンフイン時) AT7CI
		マンドを入力した場合は、回線を切断してか	NO CARRIER
		らリセットします。	(オフライン時)
5		n=0のみ指定可能(省略可)	ATZ
[M]			
ATSU= <n> [M]</n>	FOMA端木が自動者信するまでの 呼び出し回数を設定します。 ^{※1}	n=0:日動看信しない(の負い上り時) n=1~255:指定したリング数で自動着信する	OK
ATS2= <n></n>	エスケープキャラクタの設定を行	n=0~127(お買い上げ時n=43)	ATS2=43
	139.	11127に設定するとエスワーフは無効になり ます。	ATS22
			043
[M]			OK
A I S3= <n></n>	復帰(CR)キヤフクタの設定を行	AIJマント乂子列の最後を認識するキヤフ クタを定義します エコーバックされたコマ	A183=13
		ンド文字列とリザルトコードの最後に付きま	ATS3?
		す。設定値は変更できません(お買い上げ時	013
D. 47		n=13)。	OK
	改行(LE) キャラクタの設定を行	苗立でリザルトコードを表示する提合 CB	
A104-(1)	います。	キャラクタの後ろに付きます。設定値は変更	OK
		できません(お買い上げ時n=10)。	ATS4?
			010
[N 4]			OK
ATS5= <n></n>	バックスペース(BS)キャラクタ	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出	ATS5= 8 🖵
,	の設定を行います。	すると、入力バッファの最後のキャラクタを	OK
		削除します。設定値は変更できません(お買い	ATS5?🖵
		上げ時n=8)。	008
[M]			ок
ATS6= <n></n>	ダイヤルするまでのポーズ時間	本コマンドによりレジスタは設定されます	ATS6=10
5.0	(秒)を設定します。	が、動作しません。	ОК
[M]	カンロダイヤル オスキネのギーブ	n:2~10(お頁い上げ時n=5) オココンパによりに ジュクロシーキャキキ	VIC8-20
A130=(n)	ハフマショ ビルするまでのホース 時間(称)を設定します。	サコマノトにみツレンスタは設定されます ガ. ポーブ時間(3秒)に影響しません。	0K
		n=0:ポーズしない	
[M]		n :1~255(お買い上げ時n=3)	
ATS10= <n></n>	自動切断の遅延時間(秒)を設定し	本コマンドによりレジスタは設定されます	ATS10=1
[NA]	ます(1/10秒)。※「	が、動作しません。 n・1~255(お買い上げ哇n=1)	OK
	1	ロ・ロームコスの良いエレ时にリ	1

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS30= <n></n>	データの送受信をこの時間以上行 わないと切断します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ 有効です。 <n>は分単位で設定します。 n:0~255(お買い上げ時n=0) n=0は不活動タイマオフ</n>	ATS30=3
ATS103= <n></n>	着サブアドレスを付けて発信する 場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ 有効です。 n=0:*アスタリスク n=1:/スラッシュ(お買い上げ時) n=2:¥マークあるいはバックスラッシュ	ATS103=0 OK
ATS104- <n></n>	発サブアドレスを付けて発信する 場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ 有効です。 n=0:#シャープ n=1:%パーセント(お買い上げ時) n=2:&アンド	ATS104=0 OK
AT¥S	現在の設定されている各コマンド とSレジスタの内容を表示しま す。 ^{※ 2}		AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥V <n></n>	接続時の応答コード仕様を選択し ます。 ^{※ 1}	本コマンドは、ATX <n>コマンド(愛P.24)が n=0以外のときのみ有効です。 n=0:拡張リザルトコードを使用しない (お買い上げ時) n=1:拡張リザルトコードを使用する</n>	AT¥V1.

※1 AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されます。

※2 AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

※3 ATDN いやATDL いでリダイヤル発信ができます。

※4 AT&Wコマンドを使用する前にATZコマンドを実行すると、最後に記憶した状態に戻り、それまでの変更 内容は消去されます。

※5 AT&WコマンドでFOMA端末に記憶された設定値は、電源を切ると不揮発データとしてFOMA端末に格納 されます。

切断理由一覧

■パケット通信

値	理由
27	接続先(APN)が存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションガ有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理由
10	SIM not inserted	ドコモminiUIMカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM(ドコモminiUIMカードに相当する Cカード)が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

■コマンド名:+CGDCONT=[パラメータ]

概要

パケット発信時の接続先(APN)の設定を行います。

AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。 書式

+CGDCONT=[<cid>[,"<PDP_type>"[,"<APN>"]]]

パラメータ説明

<cid></cid>	: 1~10
<pdp_type></pdp_type>	: PPPまたはIP
<apn></apn>	:任意

 ◆ <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先(APN)を管理する番号です。FOMA端末では1~10 を登録できます。お買い上げ時、<cid>=1には「mopera.net」、<PDP_type>は「PPP」が、<cid>=3には「mopera.net」、<PDP_type>は「PP」が、<cid>=4には「mpr.ex-pkt.net」、<PDP_type>は「PPP」が初期値として登録されていますの で、cidは2、5~10に設定します。<APN>は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

実行例

「abc」という接続先(APN)名を登録する場合のコマンド(<cid>=5の場合) AT+CGDCONT=5,"PPP","abc"。 OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT= すべての<cid>の設定をクリアします。ただし、<cid>=1、3、4の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。 AT+CGDCONT=<cid> 指定された<cid>の設定をクリアします。ただし、<cid>=1、3、4の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。 AT+CGDCONT=? 設定可能な値のリスト値を表示します。 AT+CGDCONT? 現在の設定値を表示します。

■コマンド名:+CGEQMIN=[パラメータ]

概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS(サービス品質)を許容するかどうかの判定基準 値を登録します。

AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

AT+CGEQMIN=[<cid> [, <Maximum bitrate UL> [, <Maximum bitrate DL>[,, <Maximum bitrate DL>[,, <Maximum SDU size>]]]].

パラメータ説明

<cid>: 1~10 〈Maximum bitrate UL>: なし(初期値)または5760 〈Maximum bitrate DL>: なし(初期値)または7232 〈Maximum SDU size> 〈PDP_type>がPPPの場合: 10(初期値)~1500または1502 〈PDP type>がPPの場合: 10(初期値)~1500

● <cid>↓ <

実行例

(1)の設定が各cidに初期値として設定されています。

- (1)上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド(<cid>5の場合) AT+CGEQMIN=5
 OK
- (2)上り5760kbps/下り7232kbpsかつ最大許容SDUサイズ1500を許容する場合のコマンド(<cid>=6の場合) AT+CGEQMIN=6,5760,7232,,,1500
 OK
- (3)上り5760kbps/下りすべての速度を許容する場合のコマンド(<cid>=7の場合) AT+CGEQMIN=7,,5760
 OK
- (4)上りすべての速度/下り7232kbps速度のみ許容する場合のコマンド(<cid>=8の場合) AT+CGEQMIN=8,,7232
 OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQMIN= すべての<cid>の設定をクリアします。 AT+CGEQMIN<<cid> 指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。 AT+CGEQMIN=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQMIN? 現在の設定を表示します。

■コマンド名:+CGEQREQ=[パラメータ]

概要

PPPパケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS(サービス品質)を設定します。 AT&WコマンドでFOMA端末に記憶されません。AT&F、ATZコマンドによるリセットも行われません。

書式

AT+CGEQREQ=[<cid> [<Traffic class> [<Maximum bitrate UL> [<Maximum bitrate DL> [...<Maximum SDU size>]]]]]

パラメータ説明

各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。 : 1~10 (cid) <Traffic class> : 2または3 2:interactive(初期值) 3:background <Maximum bitrate UI > : なし(初期値)または64~5760 (Maximum bitrate DL) : なし(初期値)または64~7232 ただし、「Maximum bitrate UL] 「Maximum bitrate DL]は許容範囲であっても端数を切り捨てた値が設定される ことがあります。 <Maximum SDU size> <PDP type>がPPPの場合: 10~1500または1502(初期値) <PDP type>がIPの場合 : 10~1500(初期値) ● <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先(APN)を管理する番号です。 実行例

(1)の設定が各cidに初期値として設定されています。

- (1)上り/下りの速度を設定せず、接続を要求する場合のコマンド(<cid>=5、Traffic class=2の場合) AT+CGEQREQ=5 OK
- (2)上り5760kbps/下り7232kbpsかつ最大許容SDUサイズ1500で接続を要求する場合のコマンド(<cid>=6、 Traffic class=2の場合) AT+CGEQREQ=6,2,5760,7232,,,1500 OK
- (3)上り5760kbps/下りの速度を指定せず、接続を要求する場合のコマンド(<cid>-7、Traffic class=2の場合) AT+CGEQREQ=7,2,5760 OK
- (4)上りの速度を指定せずに下り7232kbpsで接続を要求する場合のコマンド(<cid>=8、Traffic class=2の場合) AT+CGEQREQ=8,2,7232 OK

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQREQ= すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。 AT+CGEQREQ=<cid> 指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。 AT+CGEQREQ=? 設定可能な値のリスト値を表示します。 AT+CGEQREQ? 現在の設定を表示します。

リザルトコード

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意味	
0	OK	正常に実行しました。	
1	CONNECT	相手側と接続しました。	
2	RING	着信を検出しました。	
3	NO CARRIER	回線が切断されました。	
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。	
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。	
7	BUSY	話中音の検出中です。	
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウトしました。	

28

数字表示	文字表示	意味
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意味
5	CONNECT 1200	FOMA端末-PC間速度 1200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末-PC間速度2400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末-PC間速度4800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末-PC間速度7200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末-PC間速度9600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末-PC間速度 14400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末-PC間速度 19200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末-PC間速度38400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末-PC間速度57600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末-PC間速度115200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末-PC間速度230400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末-PC間速度460800bpsで接続しました。

● リザルトコードは、ATV<n>コマンド(2017)がn=1に設定されている場合は英文字表記(初期値)、n=0に設定されている場合は数字表記で表示されます。

● 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため、通信速度は表示します。ただし、FOMA端末-PC間は FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)を利用して接続されているため、実際の接続速度と異なります。

● [RESTRICTION] (数字:100) が表示された場合は、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直 してください。

通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

リザルトコード表示例

ATX0が設定されている場合

AT¥V<n>コマンド(107P.25)の設定にかかわらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例:	ATD*99***1‡
	CONNECT
数字表示例:	ATD*99***1‡

ATX1が設定されている場合

● ATX1、AT¥V0が設定されている場合(初期値)

接続完了のときに、CONNECT<FOMA端末-PC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例:	ATD*99***1#
	CONNECT 460800
数字表示例:	ATD*99***1#

121 ●ATX1、AT¥V1が設定されている場合※

●AIXI、AI¥VI/)設定されている場合~

接続完了のときに、次の書式で表示します。

CONNECT < FOMA端末 - PC間の速度 > PACKET < 接続先(APN) > / <上り方向(FOMA端末→無線基地局間)の最高速度 > / <下り方向(FOMA端末←無線基地局間)の最高速度 >

文字表示例: ATD*99***1# CONNECT 460800 PACKET mopera.net/5760/7232 (mopera.netに、上り最大5760kbps、下り最大7232kbpsで接続したことを表す) 数字表示例: ATD*99***1# 1.215

※ ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0のみでのご利用をおすすめします。